

令和元年度(第74回)国民体育大会剣道競技宮城県予選会
成年男子・成年女子の部
大会要項

- 1 主 催 (公財)宮城県スポーツ協会 宮城県教育委員会
- 2 主 管 一般財団法人宮城県剣道連盟
- 3 期 日 令和元年6月23日(日)午前9時開会
- 4 会 場 宮城県第二総合運動場(宮城県武道館)
仙台市太白区根岸町15-1 電話022-249-1216
- 5 参 加 資 格 (1) 日本国籍を有していること。
(2) 選手は本県に平成31年4月30日以前から引き続き所属している者であること。
(3) 成年男子の部25歳未満、成年女子の部30歳未満に参加する選手は、平成13年4月1日以前に生まれた者で、その所属は、県内の居住地又は勤務地の何れかとする。大学生は県内の大学に在学している者、県内の高等学校、中学校を卒業した者とする。
(4) 年齢の区分別起算は平成31年4月1日を基準とし、成年男子の部25歳未満、25歳以上、35歳以上、45歳以上、55歳以上。成年女子の部は、30歳未満、40歳未満、40歳以上とする。
但し、成年男子の部55歳以上と成年女子の部40歳以上は【日本体育協会公認スポーツ指導者の資格を有する者】
- 6 参 加 料 1人1,000円とし、申込みと同時に納入すること。
- 7 竹 刀 検 量 検量を行う。(別紙参照のこと。)
- 8 試 合 方 法 (1) 全日本剣道連盟の剣道試合・審判規則・審判細則・運営要領による。
(2) 年齢区分別にトーナメント方式とする。参加人数によりリーグ方式とする場合もある。
(3) 試合時間は5分、3本勝負とする。勝負の決しない場合は、時間を区切らず勝負の決するまで一本勝負で延長戦を行う。
- 9 日 程 (1) 受 付 8:00~8:20 (4) 試 合
(2) 審判会議 8:30~ (5) 閉 会 式
(3) 開 会 式 9:00~
- 10 表 彰 第1位から第3位まで表彰する。
- 11 申 込 方 法 所定の申込書に記入し、各市郡連ごと下記の宛先に送付すること。
〒982-0845 仙台市太白区門前町2-1
(一財)宮城県剣道連盟事務局宛 Tel022-746-8461 Fax022-746-8462
- 12 申 込 期 日 令和元年6月10日(月)必着
- 13 そ の 他 (1) 災害・事故の場合、実施本部で応急処置をするが、他の責任は持たない。
(2) 参加選手は、市郡名もしくは所属名(横書き)と姓(縦書き)を記した布製の名札を垂に付けること。
(3) 参加選手は、紅白の目印(全長70cm幅5cm)を持参すること。
(4) 組み合わせは県剣道連盟事務局で行う。
(5) 本大会の結果は、国民体育大会の選手選考の参考とする。
(6) 個人情報、大会の目的以外に使用しません。

令和元年度(第74回)国民体育大会剣道競技 宮城県予選会 成年男子・成年女子の部 申込書

成年男子 25歳未満 25歳以上 35歳以上 45歳以上 55歳以上

成年女子 30歳未満 40歳未満 40歳以上

※成年男子の部55歳以上と成年女子の部40歳以上は【日本体育協会公認スポーツ指導者の資格を有する者】

No.	段位	氏名	性別	生年月日(年齢)	年齢区分	職業
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

以上 名分 (円) を添えて申し込みます。
令和元年 月 日

市(区)郡剣道連盟

令和元年 6 月 10 日 (月) 必着

審判主任	試合場主任	検査所責任者

剣道用具確認証

一般財団法人宮城県剣道連盟会長 殿

本大会の出場にあたり、使用する用具について、「剣道試合・審判規則」および「大会要項」に
即し、下記項目の確認いたしました。

日付：_____年____月

所 属：_____

選手氏名：_____ 印

記

1) 竹刀関連：検査本数：合計_____本（大会検査所提出本数）

- 竹刀の長さ（全長）が適正
- 竹刀の重さが適正
- 竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正
- 先から 6.5cm 部分のちくとう部の太さ（対角）が適正
- 先革の長さが適正
- 中結の位置（＝全長の約 1/4）が適正
- 各ピース（竹）の間の隙間がない
- 破損・ささくれはない
- 不当な付属品を使用していない
- 安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない

2) 小手関連

- こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部））の 1/2 以上 を保護している
- 小手ふとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ふとん部最長部との差が 2.5cm 以内である
- 小手頭部・小手ふとん部の衝撃緩衝能力がある

3) 面関連

- 肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている
- 面ふとん部の衝撃緩衝能力がある

4) 剣道着関連

- 袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

以上

表1 竹刀の基準(一刀の場合)

長さ	対象		中学生	高校生(相当年齢の者も含む)	大学生・一般
	男女共通			114センチメートル以下	117センチメートル以下
重さ	男性		440グラム以上	480グラム以上	510グラム以上
	女性		400グラム以上	420グラム以上	440グラム以上
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上	26ミリメートル以上	26ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上	21ミリメートル以上	21ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上	25ミリメートル以上	25ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上	20ミリメートル以上	20ミリメートル以上

表2 竹刀の基準(二刀の場合)

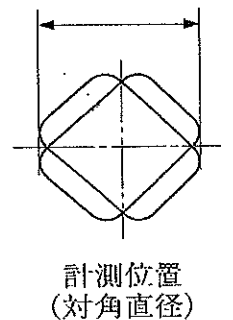
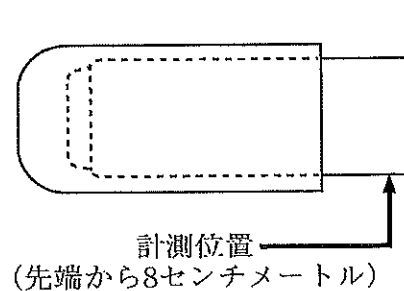
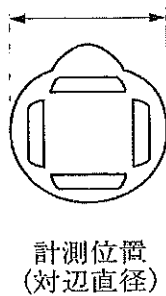
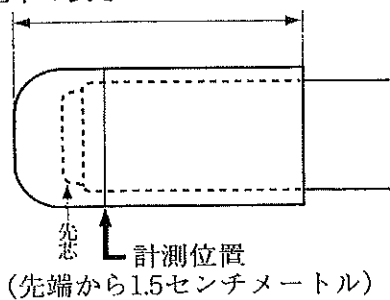
長さ	対象		大学生・一般	
			大刀	小刀
男女共通			114センチメートル以下	62センチメートル以下
重さ	男性		440グラム以上	280~300グラム
	女性		400グラム以上	250~280グラム
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上	19ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上	19ミリメートル以上

付 剣道試合・審判運営要領

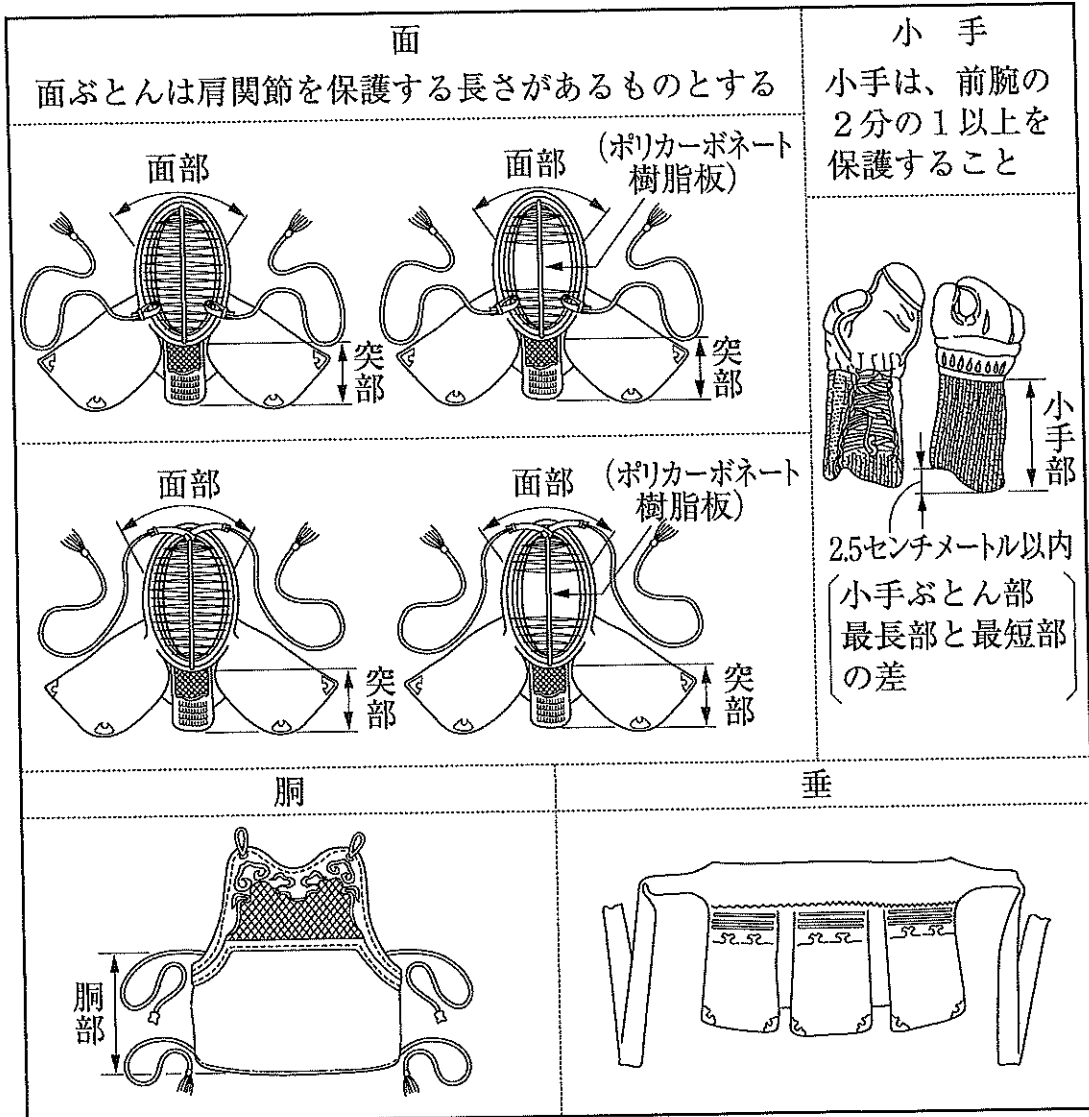
<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

<ちくとうの最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



第3図 剣道具および打突部位



※面ぶとん、小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。